

企業物流短期動向調査（日通総研短観） 調査結果

（2015年6月調査）

2015年7月

株式会社 日通総合研究所

目次

I. 調査の内容.....	1
II. 調査の結果.....	3
1. 調査結果の概要.....	3
2. 国内向け出荷量の動向.....	5
3. 輸送機関利用の動向.....	9
(1) 一般トラック.....	10
(2) 特別積合せトラック.....	11
(3) 宅配便.....	12
(4) 鉄道コンテナ.....	13
(5) 内航コンテナ.....	14
(6) 国内航空.....	15
4. 輸出入貨物量の動向.....	16
(1) 外資コンテナ ー輸出ー.....	17
(2) 外資コンテナ ー輸入ー.....	18
(3) 国際航空 ー輸出ー.....	19
(4) 国際航空 ー輸入ー.....	20
5. 在庫量と営業倉庫利用の動向.....	21
(1) 在庫量 ー原材料ー.....	22
(2) 在庫量 ー製品ー.....	23
(3) 営業倉庫保管量.....	24
6. 運賃・料金の動向.....	25
(1) 一般トラック運賃.....	26
(2) 特別積合せトラック運賃.....	27
(3) 鉄道コンテナ運賃.....	28
(4) 内航コンテナ運賃.....	29
(5) 国内航空運賃.....	30
(6) 営業倉庫保管料金.....	31
7. 物流コスト割合の動向.....	32

I. 調査の内容

目的 : 本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

方法 : 本調査はアンケート方式により、四半期ベース（3月、6月、9月、12月の年4回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の3つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標^(*)とする。

$$\text{動向判断指標} = \left[\begin{array}{l} \text{「増加する（値上り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{l} \text{「減少する（値下り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(*) 動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

調査対象 : 製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

—今回調査の回収・集計状況—

今回調査は、2015年4～6月の実績と2015年7～9月の見通しを6月初旬時点でうかがったものであり、1,055社からご協力をいただき、回答率は42.2%となった。

なお、業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

調査対象企業数と回答企業数

業 種		調査対象 企業数	回 答 企業数	回答率 (%)
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	232	106	45.7
	繊 維 ・ 衣 服	111	40	36.0
	木 材 ・ 家 具	94	44	46.8
	パ ル プ ・ 紙	107	49	45.8
	化学・プラスチック	239	115	48.1
	窯 業 ・ 土 石	102	39	38.2
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	195	106	54.4
	金 属 製 品	128	52	40.6
	一 般 機 械	222	89	40.1
	電 気 機 械	333	132	39.6
	輸 送 用 機 械	251	101	40.2
	精 密 機 械	69	26	37.7
	そ の 他	167	55	32.9
	計	2,250	954	42.4
卸 売 業	生 産 財	124	49	39.5
	消 費 財	126	52	41.3
	計	250	101	40.4
合 計		2,500	1,055	42.2

Ⅱ. 調査の結果

－ 1. 調査結果の概要－

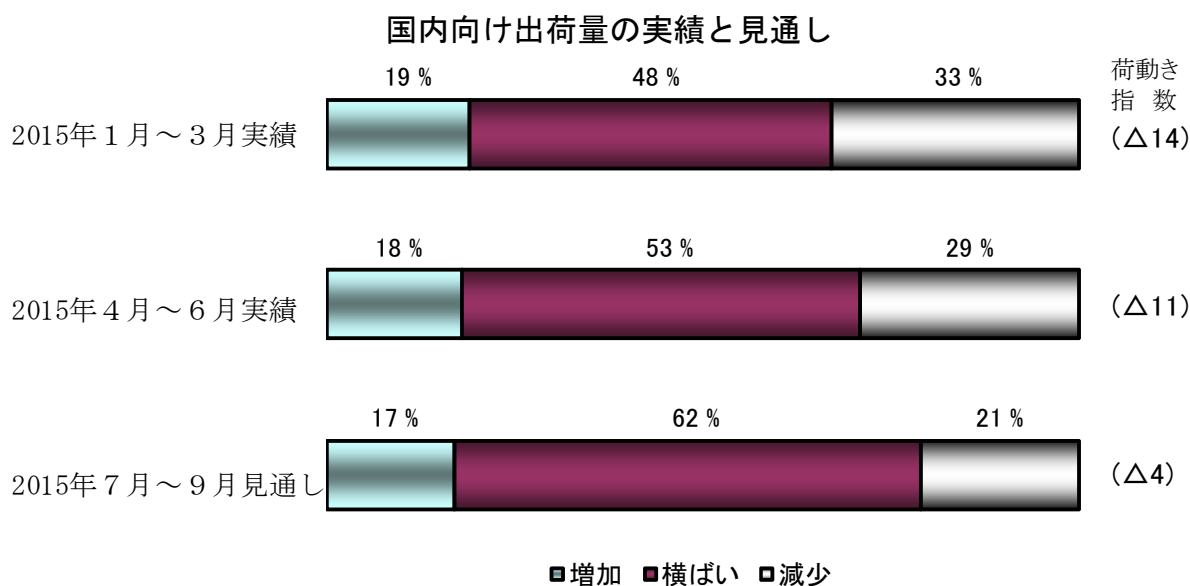
- 4～6月実績（見込み）の国内向け出荷量『荷動き指数』は△11と引き続き前年同期の水準を下回り、荷動きの停滞が続いている。しかし、7～9月見通しでは△4と、若干の改善が見込まれている。
- 業種別『荷動き指数』については、4～6月実績（見込み）では、全15業種中過半数の8業種において上昇したが、プラスの業種は3業種にとどまった。7～9月見通しでは、11業種において改善が見込まれるが、プラスの業種は4業種にとどまるとみられる。
- 地域別『荷動き指数』については、4～6月実績（見込み）では、プラスの地域は九州・沖縄のみであるが、北海道、北陸・信越、東海、四国、九州・沖縄で改善がみられた。7～9月見通しでは、九州・沖縄以外の8地域で改善の動きがみられるものの、プラスは北陸・信越および九州・沖縄の2地域にとどまり、総じて改善傾向にはあるものの、回復の足取りは依然として鈍い。
- 輸送機関別『利用動向指数』については、4～6月実績（見込み）では、一般トラックなど4輸送機関で改善がみられたが、全輸送機関で『利用動向指数』はマイナスを示した。7～9月見通しでは、全輸送機関において『利用動向指数』が改善方向に動くものの、引き続き全輸送機関で『利用動向指数』がマイナスになるとみられる。ただし、一般トラックなどでは水面まで戻しつつある。
- 輸出入貨物量『荷動き指数』については、4～6月実績（見込み）では、外貿コンテナの輸出において上昇する一方、その他の輸送機関では低下し、外貿コンテナの輸出で唯一プラスとなった。7～9月見通しでは、外貿コンテナの輸出において『荷動き指数』が小幅に上昇しプラスを維持する一方、その他の輸送機関では横ばいないしは悪化が見込まれ、マイナスになるとみられる。
- 在庫量と営業倉庫保管量の『動向指数』については、4～6月実績（見込み）では、製品在庫でプラス、営業倉庫保管量ではゼロ水準、原材料在庫ではマイナスとなった。7～9月見通しでは、営業倉庫保管量では『動向指数』がプラス、原材料在庫および製品在庫ではマイナスと、バラツキがみられる。

- 運賃・料金水準『動向指数』については、4～6月実績（見込み）では、鉄道コンテナで上昇する一方、その他の機関では低下した。『動向指数』は、全機関においてプラスとなった。7～9月見通しでは、特別積合せトラック、内航コンテナ、国内航空、倉庫保管料で上昇する一方、一般トラック、鉄道コンテナでは横ばいとなる見込みである。引き続き全機関で『動向指数』がプラスとなり、運賃・料金の上昇基調に変化はないが、やや一服感がみられる。

- 売上高に対する物流コスト割合については、4～6月実績（見込み）では、業種全体の『動向指数』はプラス12で、前期からは8ポイント低下した。7～9月見通しでは、9業種において上昇の動きがみられる。業種全体の『動向指数』はプラス13と強含み横ばいの推移が見込まれ、物流コスト割合の上昇圧力は依然として強いものの、やや一服感がみられる。

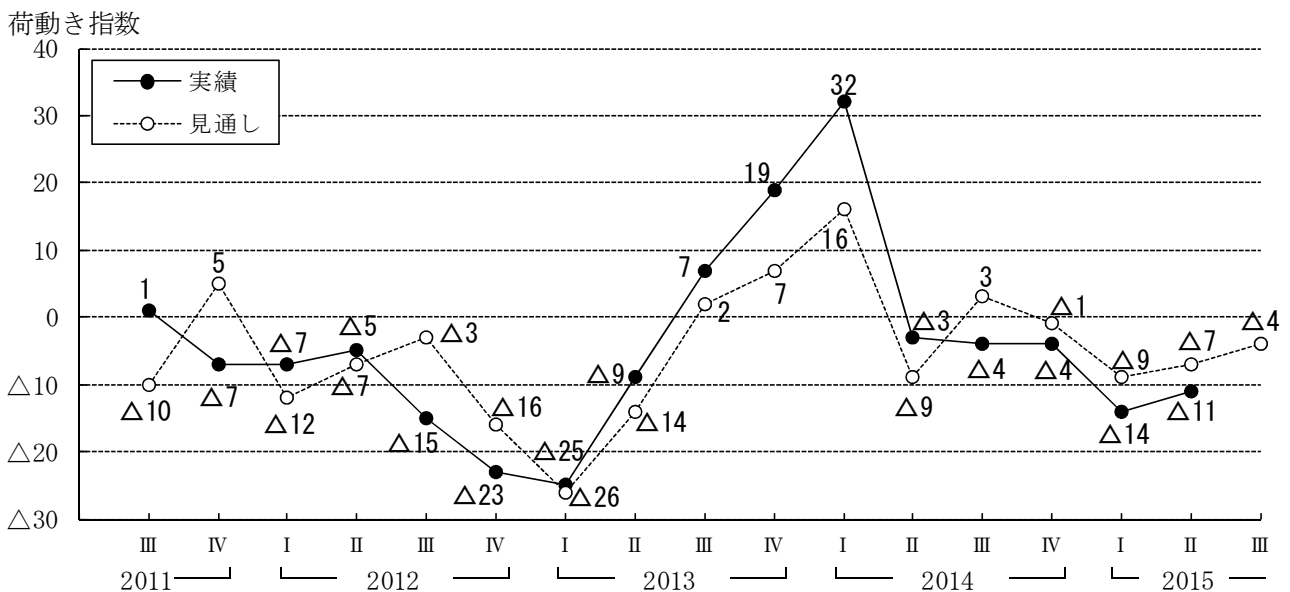
－ 2. 国内向け出荷量の動向－

- 4～6月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（1～3月）実績からは弱含み横ばいで推移し18%となった。一方、「減少」との回答は前期より4ポイント低下して29%となり、この結果『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は3ポイント上昇して△11となった。
- 7～9月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（4～6月）実績（見込み）からは弱含み横ばいで推移し17%となる一方、「減少」との回答は8ポイント低下し21%になる。この結果、『荷動き指数』は7ポイント上昇して△4と見込まれる。



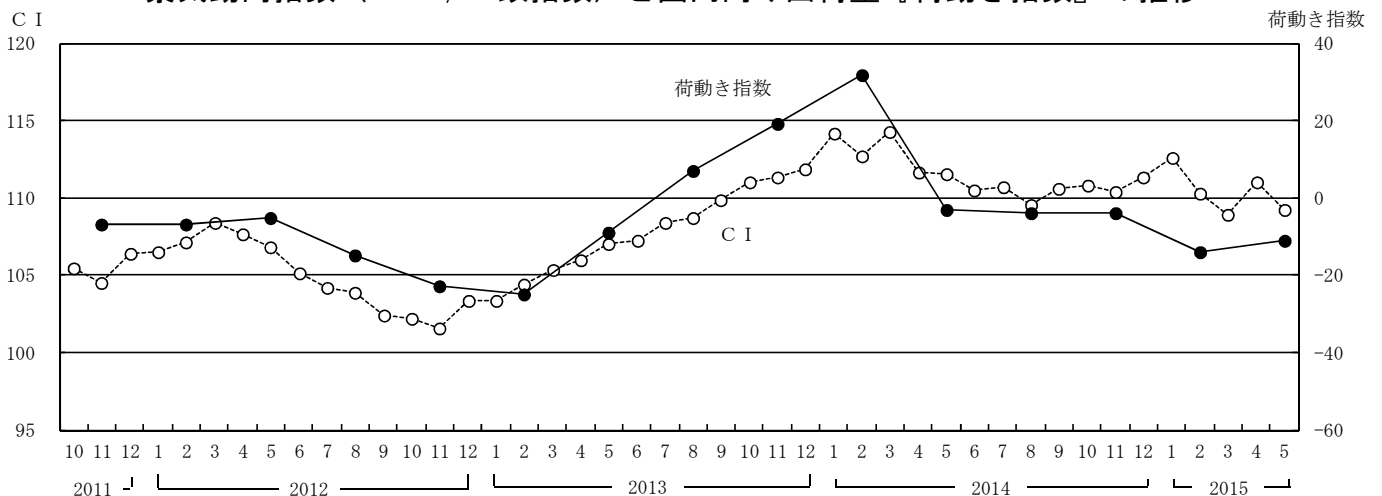
■ 今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、消費税増税前の駆け込み需要の発生などを受けて、2014年1～3月実績ではプラス32と、本調査を開始した2002年以降では最高値を示した。しかし、駆け込み需要の反動などから、4～6月実績では一転して35ポイントの大幅な下降となり、以降低調に推移した。さらに、2015年1～3月実績では、前年同期における大幅な盛り上がりの反動もあって、△14と一段の悪化がみられ、**4～6月実績（見込み）**においても△11と停滞した。なお、7～9月見通しでは△4と、若干の改善が見込まれている。

荷動きの実績（見込み）と見通しの『荷動き指数』



注) 点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』(2015年I期の『荷動き指数』は今回調査時点の見通し)、実線は各期の途中の時点で判断した実績見込みの『荷動き指数』(2014年IV期の『荷動き指数』は今回調査における判断)。

景気動向指数 (C I ; 一致指数) と国内向け出荷量『荷動き指数』の推移



注) 1. 荷動き指数は四半期ごとの数値のため、2月、5月、8月、11月の位置にプロットしている。
2. 景気動向指数研究会によると、第15循環における景気の山は2012年3月、景気の谷は2012年11月となっている。

■ 4～6月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、**全15業種中過半数の8業種において前期（1～3月）実績よりも上昇した。**食料品・飲料、化学・プラスチック、消費財卸の3業種がプラス、繊維・衣服がゼロ水準で、残り11業種がマイナスとなった。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、繊維・衣服がマイナスに沈む一方、一般機械がプラスに浮上し、精密機械もゼロ水準まで戻すなど、**11業種において改善が見込まれる。**しかし、プラスの業種は4業種にとどまり、10業種がマイナスになるとみられる。

国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業種	2015年4月～6月実績					2015年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	104	32	60	8	24	103	25	64	11	14	
繊維・衣服	38	24	52	24	0	38	16	63	21	△5	
木材・家具	43	7	44	49	△42	43	9	65	26	△17	
パルプ・紙	45	18	51	31	△13	45	15	56	29	△14	
化学・プラスチック	115	24	59	17	7	115	22	64	14	8	
窯業・土石	39	13	51	36	△23	39	12	67	21	△9	
鉄鋼・非鉄	103	10	44	46	△36	102	11	59	30	△19	
金属製品	52	0	62	38	△38	52	6	67	27	△21	
一般機械	87	18	54	28	△10	87	20	63	17	3	
電気機械	131	15	51	34	△19	131	19	55	26	△7	
輸送用機械	96	19	50	31	△12	94	19	57	24	△5	
精密機械	24	21	54	25	△4	24	21	58	21	0	
その他	54	22	43	35	△13	54	19	59	22	△3	
計	931	18	52	30	△12	927	17	61	22	△5	
卸売業	生産財	48	17	50	33	△16	48	10	73	17	△7
	消費財	50	28	58	14	14	51	24	65	11	13
	計	98	22	55	23	△1	99	17	69	14	3
合計	1,029	18	53	29	△11	1,026	17	62	21	△4	

■ 4～6月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、九州・沖縄で唯一プラスを示し、北陸・信越でゼロ水準にとどまったが、残り7地域ではマイナスとなった。前期（1～3月）実績との比較では、**北海道、北陸・信越、東海、四国、九州・沖縄において改善がみられる一方、関東で横ばい、東北、近畿、中国では低下した。**

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、九州・沖縄において悪化する一方、残り8地域では改善の動きがみられる。ただし、**プラスの地域は北陸・信越および九州・沖縄の2地域にとどまり、総じて改善傾向にはあるものの、回復の足取りは依然として鈍い。**

国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

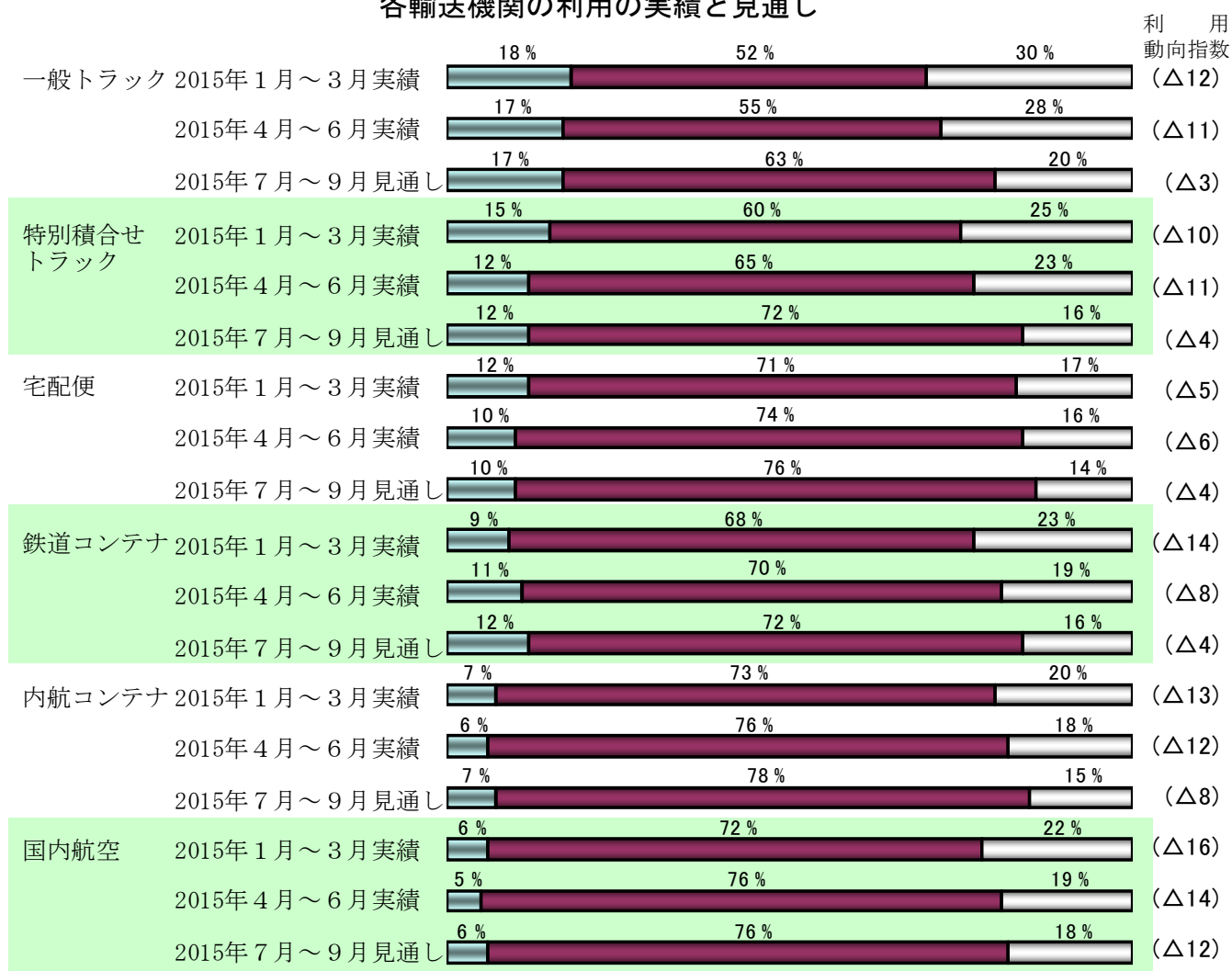
地 域	2015年4月～6月実績					2015年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北 海 道	49	18	53	29	△ 11	49	16	62	22	△ 6
東 北	94	15	55	30	△ 15	94	20	59	21	△ 1
関 東	269	18	51	31	△ 13	268	18	62	20	△ 2
北 陸 ・ 信 越	97	26	48	26	0	97	21	61	18	3
東 海	156	19	50	31	△ 12	154	16	63	21	△ 5
近 畿	150	13	52	35	△ 22	150	13	61	26	△ 13
中 国	91	20	53	27	△ 7	91	16	62	22	△ 6
四 国	55	14	62	24	△ 10	55	13	65	22	△ 9
九 州 ・ 沖 縄	68	25	62	13	12	68	26	59	15	11
合 計	1,029	18	53	29	△ 11	1,026	17	62	21	△ 4

－ 3. 輸送機関利用の動向－

■ 4～6 月実績（見込み）の輸送機関別『利用動向指数』は、一般トラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空において前期（1～3 月）実績よりも改善がみられた。しかし、引き続きすべての輸送機関で『利用動向指数』はマイナスを示している。

■ 7～9 月の見通しでは、すべての輸送機関において『利用動向指数』が改善方向に動くものの、引き続きすべての輸送機関で『利用動向指数』がマイナスとなる。ただし、一般トラックでは△3、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナでは△4 と水面近くまで戻しつつある。

各輸送機関の利用の実績と見通し



■増加 ■横ばい ■減少

(1) 一般トラック

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、食料品・飲料、化学・プラスチック、消費財卸の3業種がプラス、繊維・衣服がゼロ水準で、残り11業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は、前期（1～3月）実績から強含み横ばいで推移して△11となった。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、繊維・衣服がマイナスに沈む一方、一般機械および精密機械がプラスに浮上するなど、12業種において改善の動きがみられる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△3と8ポイント上昇する見通しであり、利用は回復に向かいつつある。

一般トラック利用の実績と見通し

業種	2015年4月～6月実績					2015年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	103	31	55	14	17	101	27	61	12	15
繊維・衣服	34	21	58	21	0	34	8	68	24	△16
木材・家具	43	4	49	47	△43	43	2	75	23	△21
パルプ・紙	49	18	62	20	△2	49	16	64	20	△4
化学・プラスチック	112	21	65	14	7	111	20	69	11	9
窯業・土石	38	11	50	39	△28	38	10	66	24	△14
鉄鋼・非鉄	104	13	46	41	△28	103	12	60	28	△16
金属製品	52	1	62	37	△36	52	6	71	23	△17
一般機械	89	18	55	27	△9	87	23	59	18	5
電気機械	123	15	51	34	△19	122	16	56	28	△12
輸送用機械	96	15	53	32	△17	95	19	59	22	△3
精密機械	23	17	61	22	△5	23	22	61	17	5
その他	51	24	43	33	△9	51	15	63	22	△7
計	917	17	54	29	△12	909	16	63	21	△5
卸売業										
生産財	45	16	51	33	△17	43	14	70	16	△2
消費財	50	24	62	14	10	50	22	62	16	6
計	95	20	57	23	△3	93	18	66	16	2
合計	1,012	17	55	28	△11	1,002	17	63	20	△3

(2) 特別積合せトラック

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、パルプ・紙、消費財卸など5業種がプラスで、窯業・土石、鉄鋼・非鉄など10業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は、前期（1～3月）実績から弱含み横ばいで推移して△11となった。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、パルプ・紙がゼロ水準まで下降する一方、窯業・土石、輸送用機械など、12業種において改善の動きがみられる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△4と7ポイント上昇する見通しであり、利用は回復に向かいつつある。

特別積合せトラック利用の実績と見通し

業 種	2015年4月～6月実績					2015年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	75	21	66	13	8	73	19	71	10	9
	繊維・衣服	26	23	62	15	8	26	19	69	12	7
	木材・家具	27	11	56	33	△22	27	11	63	26	△15
	パルプ・紙	30	30	53	17	13	30	17	66	17	0
	化学・プラスチック	105	10	75	15	△5	105	10	77	13	△3
	窯業・土石	29	3	52	45	△42	29	7	76	17	△10
	鉄鋼・非鉄	67	6	57	37	△31	67	6	64	30	△24
	金属製品	37	5	63	32	△27	37	8	68	24	△16
	一般機械	64	11	67	22	△11	64	13	70	17	△4
	電気機械	99	12	59	29	△17	97	14	65	21	△7
	輸送用機械	74	9	68	23	△14	73	11	77	12	△1
	精密機械	17	0	76	24	△24	17	0	65	35	△35
	その他	41	5	73	22	△17	41	5	88	7	△2
計	691	12	64	24	△12	686	12	71	17	△5	
卸 売 業	生産財	38	21	63	16	5	36	17	75	8	9
	消費財	34	18	74	8	10	34	21	74	5	16
	計	72	19	68	13	6	70	19	74	7	12
合計	763	12	65	23	△11	756	12	72	16	△4	

(3) 宅配便

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、パルプ・紙など4業種がプラス、化学・プラスチックがゼロ水準で、木材・家具、窯業・土石など10業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は、前期（1～3月）実績から弱含み横ばいで推移して△4となった。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、化学・プラスチックがマイナスに沈む一方、生産財卸がゼロ水準まで戻すなど、10業種において改善の動きがみられる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△4と2ポイント上昇する見通しであり、利用は回復に向かいつつある。

宅配便利用の実績と見通し

業 種	2015年4月～6月実績					2015年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	82	15	77	8	7	79	13	80	7	6
	繊 維 ・ 衣 服	37	5	73	22	△ 17	37	3	78	19	△ 16
	木 材 ・ 家 具	29	3	66	31	△ 28	28	4	71	25	△ 21
	パ ル プ ・ 紙	27	15	85	0	15	27	19	81	0	19
	化学・プラスチック	92	4	92	4	0	92	4	91	5	△ 1
	窯 業 ・ 土 石	30	3	70	27	△ 24	30	7	70	23	△ 16
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	66	8	71	21	△ 13	65	5	75	20	△ 15
	金 属 製 品	43	4	77	19	△ 15	42	7	79	14	△ 7
	一 般 機 械	81	17	67	16	1	79	14	75	11	3
	電 気 機 械	115	7	77	16	△ 9	114	12	73	15	△ 3
	輸 送 用 機 械	85	7	77	16	△ 9	83	3	81	16	△ 13
	精 密 機 械	24	12	63	25	△ 13	24	12	63	25	△ 13
	そ の 他	46	13	67	20	△ 7	46	13	72	15	△ 2
計	757	9	75	16	△ 7	746	9	77	14	△ 5	
卸 売 業	生 産 財	39	18	56	26	△ 8	38	18	64	18	0
	消 費 財	43	19	67	14	5	43	21	70	9	12
	計	82	18	62	20	△ 2	81	20	67	13	7
合 計	839	10	74	16	△ 6	827	10	76	14	△ 4	

(4) 鉄道コンテナ

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、食料品・飲料など4業種がプラス、繊維・衣服および精密機械がゼロ水準で、窯業・土石、電気機械など9業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は、前期（1～3月）実績から6ポイント上昇して△8となった。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、金属製品がプラスに浮上するなど、7業種において改善の動きがみられる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△4と4ポイント上昇する見通しであり、利用は回復に向かいつつある。

鉄道コンテナ利用の実績と見通し

業種	2015年4月～6月実績					2015年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	51	25	61	14	11	50	22	64	14	8
	繊維・衣服	9	11	78	11	0	9	11	78	11	0
	木材・家具	21	5	62	33	△28	22	9	73	18	△9
	パルプ・紙	37	16	60	24	△8	37	16	65	19	△3
	化学・プラスチック	86	13	79	8	5	86	13	79	8	5
	窯業・土石	14	7	50	43	△36	14	7	57	36	△29
	鉄鋼・非鉄	42	21	60	19	2	42	21	62	17	4
	金属製品	19	5	84	11	△6	18	11	83	6	5
	一般機械	35	9	80	11	△2	35	9	80	11	△2
	電気機械	42	0	67	33	△33	41	5	63	32	△27
	輸送用機械	36	0	75	25	△25	36	5	81	14	△9
	精密機械	12	8	84	8	0	12	8	84	8	0
	その他	26	4	69	27	△23	26	4	65	31	△27
計	430	11	70	19	△8	428	12	72	16	△4	
卸売業	生産財	12	33	67	0	33	12	25	75	0	25
	消費財	19	11	68	21	△10	19	5	74	21	△16
	計	31	19	68	13	6	31	13	74	13	0
合計	461	11	70	19	△8	459	12	72	16	△4	

(5) 内航コンテナ

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、生産財卸が唯一プラスを示し、窯業・土石がゼロ水準にとどまる以外は、残り13業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は前期（1～3月）実績からは強含み横ばいで推移して△12となった。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、化学・プラスチックがゼロ水準まで戻すなど、9業種において改善の動きがみられる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△8と4ポイント上昇する見通しであるが、利用は引き続き減退するとみられる。

内航コンテナ利用の実績と見通し

業種	2015年4月～6月実績					2015年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	28	7	79	14	△7	27	7	82	11	△4
	繊維・衣服	8	0	88	12	△12	8	0	88	12	△12
	木材・家具	12	8	67	25	△17	13	8	77	15	△7
	パルプ・紙	25	8	76	16	△8	25	4	84	12	△8
	化学・プラスチック	57	7	79	14	△7	57	12	76	12	0
	窯業・土石	7	29	42	29	0	7	29	42	29	0
	鉄鋼・非鉄	25	4	68	28	△24	25	4	76	20	△16
	金属製品	15	0	80	20	△20	14	0	93	7	△7
	一般機械	31	6	81	13	△7	31	3	81	16	△13
	電気機械	41	0	80	20	△20	41	2	78	20	△18
	輸送用機械	34	8	68	24	△16	34	8	74	18	△10
	精密機械	10	0	90	10	△10	10	0	90	10	△10
	その他	22	5	68	27	△22	22	9	68	23	△14
計	315	5	76	19	△14	314	6	78	16	△10	
卸売業	生産財	8	25	63	12	13	8	12	88	0	12
	消費財	14	0	86	14	△14	14	7	79	14	△7
	計	22	9	77	14	△5	22	9	82	9	0
合計	337	6	76	18	△12	336	7	78	15	△8	

(6) 国内航空

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、金属製品が唯一プラスを示し、繊維・衣服および生産財卸がゼロ水準にとどまる以外は、残り12業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△14で、前期（1～3月）実績から2ポイント上昇した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、生産財卸がマイナスに沈む一方、窯業・土石がゼロ水準まで戻すなど、7業種において改善の動きがみられる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△12と2ポイント上昇する見通しであるが、利用は引き続き減退するとみられる。

国内航空利用の実績と見通し

業種	2015年4月～6月実績					2015年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	28	4	75	21	△17	27	3	78	19	△16
繊維・衣服	8	0	100	0	0	8	0	100	0	0
木材・家具	9	0	89	11	△11	10	0	90	10	△10
パルプ・紙	7	0	86	14	△14	7	0	86	14	△14
化学・プラスチック	44	9	75	16	△7	44	9	75	16	△7
窯業・土石	8	12	63	25	△13	8	25	50	25	0
鉄鋼・非鉄	25	8	72	20	△12	25	4	80	16	△12
金属製品	15	7	93	0	7	15	7	93	0	7
一般機械	42	2	74	24	△22	42	2	79	19	△17
電気機械	63	3	70	27	△24	62	9	65	26	△17
輸送用機械	32	3	78	19	△16	32	3	88	9	△6
精密機械	17	6	82	12	△6	17	11	71	18	△7
その他	18	0	78	22	△22	18	11	61	28	△17
計	316	4	77	19	△15	315	7	76	17	△10
卸売業										
生産財	11	18	64	18	0	11	9	64	27	△18
消費財	16	0	81	19	△19	16	0	81	19	△19
計	27	7	74	19	△12	27	4	74	22	△18
合計	343	5	76	19	△14	342	6	76	18	△12

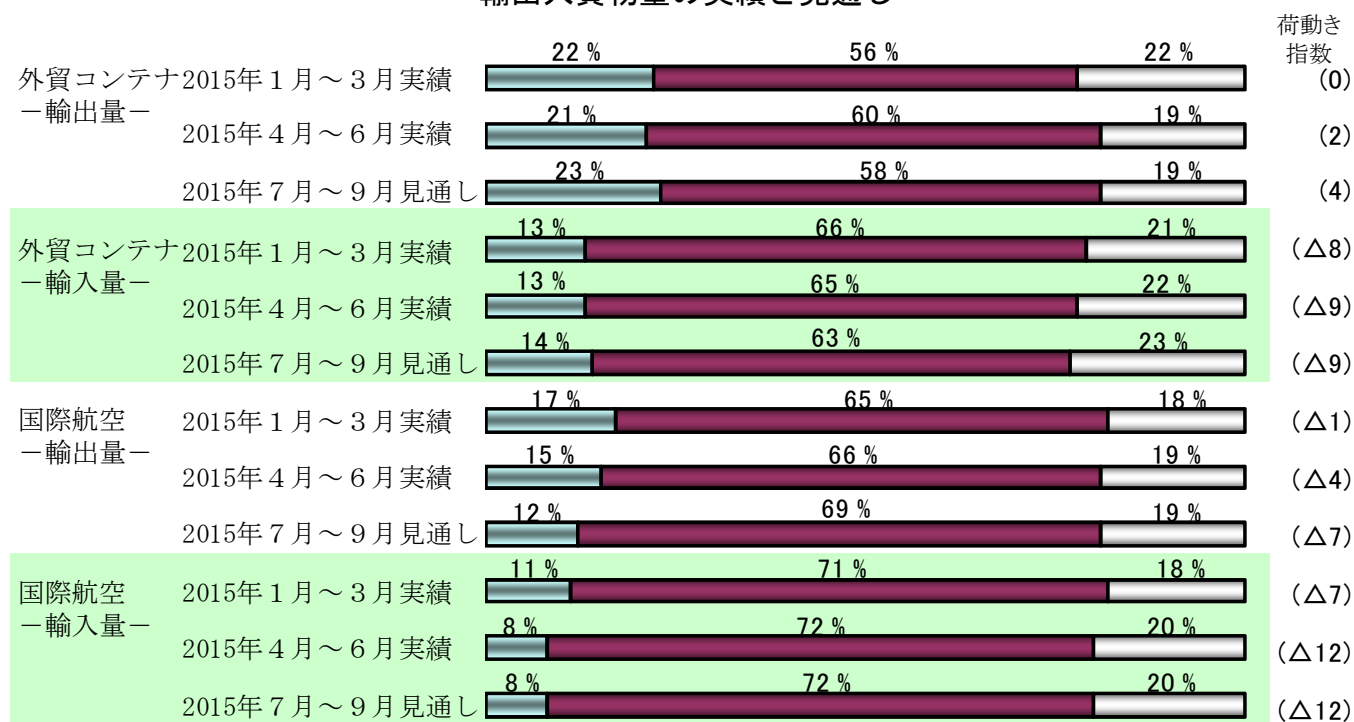
－ 4. 輸出入貨物量の動向－

■ 4～6 月実績（見込み）の『荷動き指数』をみると、外貿コンテナの輸出において前期（1～3 月）実績よりも上昇する一方、その他の輸送機関では低下した。

唯一、外貿コンテナの輸出で『荷動き指数』がプラスとなったが、その他の輸送機関ではマイナスを示した。

■ 7～9 月の見通しでは、外貿コンテナの輸出において『荷動き指数』が小幅に上昇する一方、外貿コンテナの輸入および国際航空の輸入では横ばいで推移し、国際航空の輸出で悪化する見込みである。この結果、**唯一、外貿コンテナの輸出において『荷動き指数』がプラスで、その他の輸送機関ではマイナスになるとみられる。**

輸出入貨物量の実績と見通し



■増加 ■横ばい □減少

(1) 外貿コンテナ ー輸出ー

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、窯業・土石、生産財卸など10業種がプラス、食料品・飲料、輸送用機械など5業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』はプラス2で、前期（1～3月）実績からは2ポイント上昇した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、一般機械、輸送用機械など10業種において改善の動きがみられる。この結果、業種全体の『利用動向指数』はプラス4と2ポイント上昇する見通しで、荷動きは回復に向かう見込みである。

外貿コンテナによる輸出量の実績と見通し

業種	2015年4月～6月実績					2015年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	14	14	57	29	△15	13	15	62	23	△8
	繊維・衣服	12	17	58	25	△8	12	25	42	33	△8
	木材・家具	7	29	71	0	29	8	25	63	12	13
	パルプ・紙	20	30	50	20	10	20	35	45	20	15
	化学・プラスチック	64	23	63	14	9	64	22	66	12	10
	窯業・土石	19	47	37	16	31	19	42	42	16	26
	鉄鋼・非鉄	41	12	66	22	△10	41	12	66	22	△10
	金属製品	19	21	74	5	16	19	21	79	0	21
	一般機械	55	18	53	29	△11	55	22	51	27	△5
	電気機械	63	17	69	14	3	63	21	63	16	5
	輸送用機械	58	16	55	29	△13	58	19	53	28	△9
	精密機械	14	29	50	21	8	14	36	43	21	15
	その他	25	28	52	20	8	25	28	56	16	12
計	411	21	59	20	1	411	23	58	19	4	
卸 売 業	生産財	9	44	44	12	32	9	44	44	12	32
	消費財	12	8	92	0	8	12	25	75	0	25
	計	21	24	71	5	19	21	33	62	5	28
合計	432	21	60	19	2	432	23	58	19	4	

(2) 外貿コンテナ ー輸入ー

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、窯業・土石および生産財卸がプラス、精密機械および消費財卸がゼロ水準で、残り11業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△9で、前期（1～3月）実績から弱含み横ばいで推移した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、消費財卸がマイナスに沈み、窯業・土石および生産財卸がゼロ水準まで下降する一方、食料品・飲料および精密機械がプラスに浮上し、化学・プラスチックおよび一般機械もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△9と横ばいで推移する見通しで、荷動きの減退が続くとみられる。

外貿コンテナによる輸入量の実績と見通し

業種	2015年4月～6月実績					2015年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	16	19	56	25	△6	15	33	47	20	13
	繊維・衣服	13	8	54	38	△30	13	8	54	38	△30
	木材・家具	14	7	50	43	△36	15	7	53	40	△33
	パルプ・紙	14	0	64	36	△36	14	7	72	21	△14
	化学・プラスチック	60	12	75	13	△1	60	13	74	13	0
	窯業・土石	20	25	65	10	15	20	20	60	20	0
	鉄鋼・非鉄	29	7	69	24	△17	29	10	59	31	△21
	金属製品	19	5	69	26	△21	19	11	68	21	△10
	一般機械	55	15	65	20	△5	55	18	64	18	0
	電気機械	62	9	73	18	△9	61	11	71	18	△7
	輸送用機械	61	13	71	16	△3	61	11	58	31	△20
	精密機械	14	36	28	36	0	14	36	36	28	8
	その他	25	8	60	32	△24	25	12	60	28	△16
計	402	12	66	22	△10	401	14	63	23	△9	
卸 売 業	生産財	12	42	25	33	9	12	25	50	25	0
	消費財	15	13	74	13	0	15	13	67	20	△7
	計	27	26	52	22	4	27	19	59	22	△3
合計	429	13	65	22	△9	428	14	63	23	△9	

(3) 国際航空 —輸出—

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、化学・プラスチック、一般機械、生産財卸の3業種がプラス、木材・家具、電気機械、その他の製造業の3業種がゼロ水準で、食料品・飲料、鉄鋼・非鉄など9業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△4で、前期（1～3月）実績からは3ポイント低下した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、電気機械および消費財卸がプラスに浮上し、パルプ・紙もゼロ水準まで戻す一方、一般機械およびその他の製造業がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△7と3ポイント低下する見通しで、荷動きの減退圧力が強まるとみられる。

国際航空による輸出量の実績と見通し

業 種	2015年4月～6月実績					2015年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	8	0	75	25	△ 25	8	0	75	25	△ 25
	繊維・衣服	8	0	88	12	△ 12	8	0	88	12	△ 12
	木材・家具	4	0	100	0	0	4	0	100	0	0
	パルプ・紙	4	0	75	25	△ 25	4	25	50	25	0
	化学・プラスチック	46	13	80	7	6	46	11	80	9	2
	窯業・土石	8	24	38	38	△ 14	8	12	38	50	△ 38
	鉄鋼・非鉄	26	4	69	27	△ 23	26	0	81	19	△ 19
	金属製品	14	0	86	14	△ 14	14	0	86	14	△ 14
	一般機械	56	21	61	18	3	56	12	68	20	△ 8
	電気機械	77	18	64	18	0	76	21	61	18	3
	輸送用機械	45	13	60	27	△ 14	45	9	69	22	△ 13
	精密機械	17	24	47	29	△ 5	17	18	53	29	△ 11
	その他	15	20	60	20	0	15	6	67	27	△ 21
計	328	15	66	19	△ 4	327	12	69	19	△ 7	
卸 売 業	生産財	10	20	70	10	10	10	20	70	10	10
	消費財	8	12	63	25	△ 13	8	38	38	24	14
	計	18	16	67	17	△ 1	18	28	56	16	12
合計	346	15	66	19	△ 4	345	12	69	19	△ 7	

(4) 国際航空 — 輸入 —

■ 4～6月実績(見込み)の『荷動き指数』は、電気機械および生産財卸がプラス、木材・家具および消費財卸がゼロ水準で、残り11業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△12で、前期(1～3月)実績からは5ポイント低下した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、消費財卸がマイナスに沈み、電気機械および生産財卸もゼロ水準まで下降する一方、化学・プラスチック、一般機械などで改善の動きがみられる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△12と横ばいで推移する見通しで、荷動きの減退が続くとみられる。

国際航空による輸入量の実績と見通し

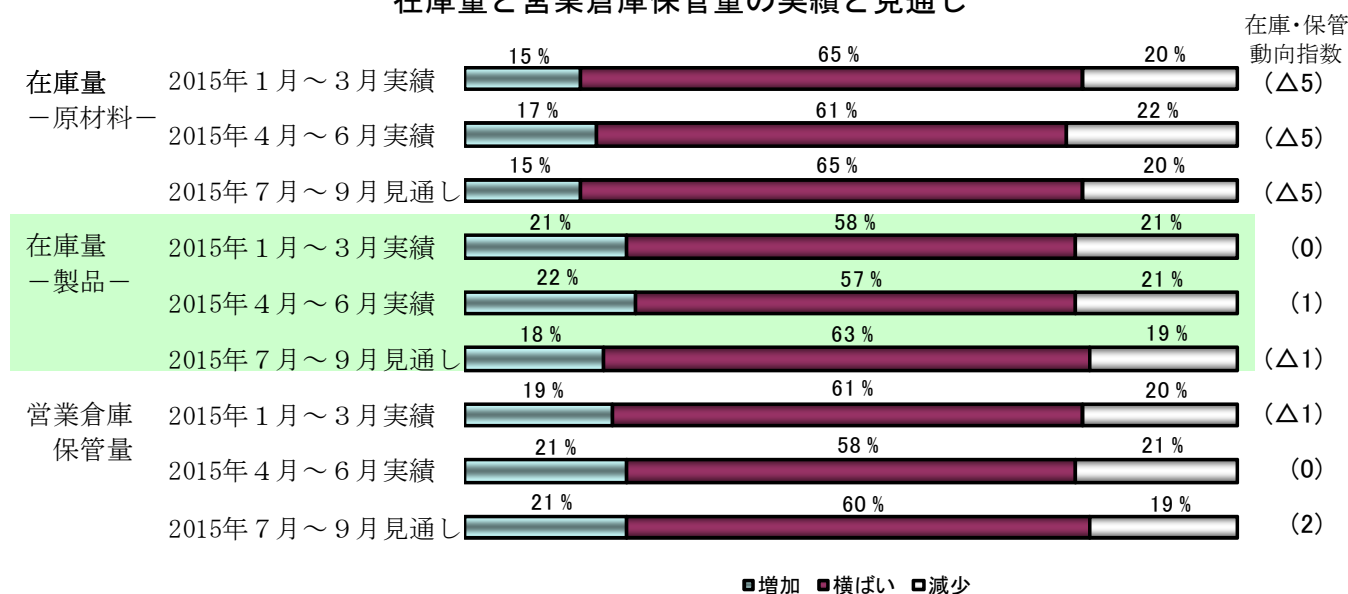
業種	2015年4月～6月実績					2015年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	11	9	73	18	△9	10	10	70	20	△10	
繊維・衣服	8	0	88	12	△12	8	0	88	12	△12	
木材・家具	4	0	100	0	0	4	0	100	0	0	
パルプ・紙	3	0	67	33	△33	3	0	67	33	△33	
化学・プラスチック	40	4	78	18	△14	40	7	78	15	△8	
窯業・土石	8	12	38	50	△38	8	0	37	63	△63	
鉄鋼・非鉄	21	0	71	29	△29	21	0	76	24	△24	
金属製品	11	0	91	9	△9	11	0	91	9	△9	
一般機械	47	6	75	19	△13	47	8	77	15	△7	
電気機械	64	17	69	14	3	63	17	66	17	0	
輸送用機械	40	4	73	23	△19	40	5	70	25	△20	
精密機械	18	5	56	39	△34	18	6	61	33	△27	
その他	13	0	85	15	△15	13	0	85	15	△15	
計	288	7	73	20	△13	286	8	72	20	△12	
卸売業	生産財	10	20	70	10	10	10	10	80	10	0
	消費財	10	20	60	20	0	10	20	50	30	△10
	計	20	20	65	15	5	20	15	65	20	△5
合計	308	8	72	20	△12	306	8	72	20	△12	

－ 5. 在庫量と営業倉庫利用の動向－

■ 4～6月実績（見込み）の在庫量と営業倉庫保管量の動向をみると、製品在庫および営業倉庫保管量では、『動向指数』が前期（1～3月）実績から強含み横ばい、原材料在庫では横ばいで推移した。この結果、**製品在庫で『動向指数』がプラス、営業倉庫保管量ではゼロ水準、原材料在庫ではマイナスと、バラツキがみられる。**

■ 7～9月の見通しについては、営業倉庫保管量では『動向指数』が上昇する一方、原材料在庫で横ばい、製品在庫において弱含み横ばいとなる見込みである。この結果、**営業倉庫保管量で『動向指数』がプラス、原材料在庫および製品在庫ではマイナスと、バラツキがみられる。**

在庫量と営業倉庫保管量の実績と見通し



(1) 在庫量 —原材料—

■ 4～6月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、繊維・衣服など4業種がプラスで、残り11業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△5で、前期（1～3月）実績から横ばいで推移した。

■ 7～9月の『在庫動向指数』見通しでは、繊維・衣服および化学・プラスチックがマイナスに沈む一方、生産財卸がプラスに浮上する。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は△5と横ばいの推移が見込まれ、原材料在庫は縮小が続くとみられる。

在庫量（原材料）の実績と見通し

業 種	2015年4月～6月実績					2015年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食 料 品 ・ 飲 料	94	17	69	14	3	93	20	67	13	7
繊 維 ・ 衣 服	36	22	64	14	8	36	8	75	17	△ 9
木 材 ・ 家 具	39	15	49	36	△ 21	39	10	64	26	△ 16
パ ル プ ・ 紙	45	18	60	22	△ 4	45	6	76	18	△ 12
化学・プラスチック	107	19	69	12	7	107	13	73	14	△ 1
製 窯 業 ・ 土 石	36	14	47	39	△ 25	36	8	67	25	△ 17
造 鉄 鋼 ・ 非 鉄	98	17	63	20	△ 3	98	14	69	17	△ 3
業 金 属 製 品	43	9	56	35	△ 26	43	11	63	26	△ 15
一 般 機 械	78	23	59	18	5	78	26	55	19	7
電 気 機 械	114	18	62	20	△ 2	113	18	60	22	△ 4
輸 送 用 機 械	88	13	59	28	△ 15	87	11	59	30	△ 19
精 密 機 械	24	12	63	25	△ 13	24	8	67	25	△ 17
そ の 他	48	19	60	21	△ 2	48	17	60	23	△ 6
計	850	17	62	21	△ 4	847	15	65	20	△ 5
卸 生 産 財	29	13	66	21	△ 8	29	10	83	7	3
業 消 費 財	32	16	56	28	△ 12	32	19	56	25	△ 6
計	61	14	61	25	△ 11	61	15	69	16	△ 1
合 計	911	17	61	22	△ 5	908	15	65	20	△ 5

(2) 在庫量 —製品—

■ 4～6月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、繊維・衣服、パルプ・紙など7業種がプラス、輸送用機械、精密機械など8業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』はプラス1で、前期（1～3月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 7～9月の『在庫動向指数』見通しでは、食料品・飲料がプラスに浮上し、金属製品がゼロ水準まで戻す一方、化学・プラスチックおよび生産財卸がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は△1と2ポイント低下する見通しで、製品在庫はわずかながら縮小に向かうとみられる。

在庫量（製品）の実績と見通し

業 種	2015年4月～6月実績					2015年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	92	14	68	18	△4	91	16	69	15	1
	繊維・衣服	36	33	50	17	16	36	22	59	19	3
	木材・家具	39	20	54	26	△6	39	12	67	21	△9
	パルプ・紙	46	39	46	15	24	46	22	59	19	3
	化学・プラスチック	114	25	58	17	8	114	16	66	18	△2
	窯業・土石	38	21	50	29	△8	38	18	61	21	△3
	鉄鋼・非鉄	99	25	58	17	8	99	19	67	14	5
	金属製品	46	22	50	28	△6	46	22	56	22	0
	一般機械	81	21	59	20	1	81	26	56	18	8
	電気機械	116	19	55	26	△7	114	19	56	25	△6
	輸送用機械	90	17	57	26	△9	89	15	63	22	△7
	精密機械	26	15	58	27	△12	26	11	62	27	△16
	その他	50	30	50	20	10	50	22	62	16	6
	計	873	23	56	21	2	869	19	62	19	0
卸 売 業	生産財	41	24	54	22	2	41	15	68	17	△2
	消費財	42	16	60	24	△8	42	12	71	17	△5
	計	83	20	57	23	△3	83	13	70	17	△4
合計	956	22	57	21	1	952	18	63	19	△1	

(3) 営業倉庫保管量

■ 4～6月実績（見込み）の『保管動向指数』は、パルプ・紙、一般機械など6業種がプラス、その他の製造業がゼロ水準で、窯業・土石、消費財卸など8業種がマイナスとなった。業種全体の『保管動向指数』はゼロ水準で、前期（1～3月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 7～9月の『保管動向指数』見通しでは、食料品・飲料およびその他の製造業がマイナスに沈む一方、金属製品および電気機械がプラスに浮上し、精密機械もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『保管動向指数』は2ポイント上昇してプラス2と見込まれ、営業倉庫保管量はわずかながら拡大に向かうとみられる。

営業倉庫保管量の実績と見通し

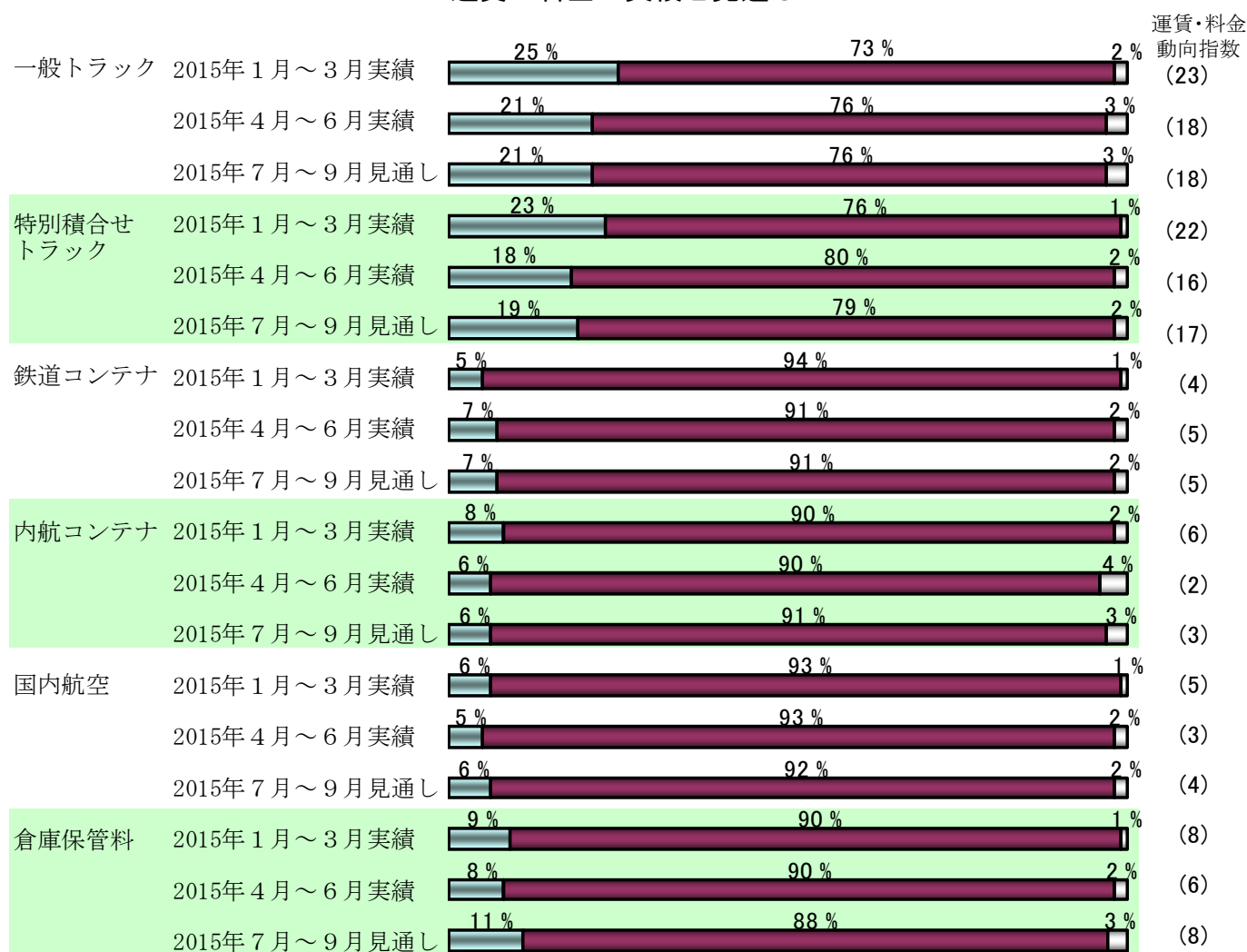
業 種	2015年4月～6月実績					2015年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	81	21	59	20	1	81	15	68	17	△ 2
	繊維・衣服	19	11	68	21	△ 10	19	11	63	26	△ 15
	木材・家具	34	15	59	26	△ 11	34	17	62	21	△ 4
	パルプ・紙	39	31	54	15	16	39	28	57	15	13
	化学・プラスチック	92	24	60	16	8	92	24	63	13	11
	窯業・土石	20	15	55	30	△ 15	20	0	55	45	△ 45
	鉄鋼・非鉄	68	22	57	21	1	70	20	63	17	3
	金属製品	30	23	50	27	△ 4	30	27	53	20	7
	一般機械	64	23	63	14	9	64	28	58	14	14
	電気機械	80	14	68	18	△ 4	79	22	61	17	5
	輸送用機械	63	21	52	27	△ 6	63	19	54	27	△ 8
	精密機械	15	13	60	27	△ 14	15	20	60	20	0
	その他	40	25	50	25	0	40	19	58	23	△ 4
計	645	21	59	20	1	646	21	60	19	2	
卸 売 業	生産財	36	28	53	19	9	36	25	61	14	11
	消費財	39	15	54	31	△ 16	39	21	51	28	△ 7
	計	75	21	54	25	△ 4	75	23	56	21	2
合 計	720	21	58	21	0	721	21	60	19	2	

－ 6. 運賃・料金の動向－

■ 4～6月の運賃・料金水準『動向指数』実績（見込み）は、鉄道コンテナにおいて前期（1～3月）実績よりも上昇する一方、その他の機関では低下した。『動向指数』は、すべての機関においてプラスとなった。

■ 7～9月の『動向指数』見通しについては、総じて小幅な動きとなり、特別積合せトラック、内航コンテナ、国内航空、倉庫保管料で上昇する一方、一般トラックおよび鉄道コンテナでは横ばいとなる見込みである。この結果、引き続きすべての機関で『動向指数』がプラスとなり、運賃・料金の上昇基調に変化はないが、やや一服感がみられる。

運賃・料金の実績と見通し



■値上り ■変わらず □値下り

(1) 一般トラック運賃

■ 4～6 月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、精密機械がゼロ水準で、残り 14 業種がプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス 18 で、前期（1～3 月）実績からは 5 ポイント低下した。

■ 7～9 月の『運賃動向指数』見通しでは、化学・プラスチックなど 4 業種においてプラス幅が縮小する一方、輸送用機械など 5 業種でプラス幅が拡大する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス 18 と横ばいの推移が見込まれ、運賃水準の上昇圧力は依然として強いものの、やや一服感がみられる。

一般トラック運賃の実績と見通し

業 種	2015年4月～6月実績					2015年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	103	37	62	1	36	102	35	64	1	34
	織 維 ・ 衣 服	34	15	85	0	15	34	15	85	0	15
	木 材 ・ 家 具	41	12	88	0	12	41	12	88	0	12
	パ ル プ ・ 紙	49	31	63	6	25	49	29	65	6	23
	化学・プラスチック	111	27	71	2	25	110	25	71	4	21
	窯 業 ・ 土 石	38	18	79	3	15	38	18	79	3	15
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	103	17	72	11	6	103	15	77	8	7
	金 属 製 品	51	16	82	2	14	51	14	82	4	10
	一 般 機 械	86	16	82	2	14	86	19	78	3	16
	電 気 機 械	119	15	85	0	15	119	17	82	1	16
	輸 送 用 機 械	92	14	81	5	9	91	20	75	5	15
	精 密 機 械	24	13	74	13	0	24	8	84	8	0
	そ の 他	50	20	78	2	18	49	20	78	2	18
	計	901	20	77	3	17	897	21	76	3	18
卸 売 業	生 産 財	41	22	78	0	22	41	27	71	2	25
	消 費 財	49	31	69	0	31	49	31	69	0	31
	計	90	27	73	0	27	90	29	70	1	28
合 計	991	21	76	3	18	987	21	76	3	18	

(2) 特別積合せトラック運賃

■ 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、精密機械がゼロ水準で、残り14業種がプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス16で、前期（1～3月）実績からは6ポイント低下した。

■ 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、化学・プラスチックなど6業種においてプラス幅が縮小する一方、輸送用機械など5業種でプラス幅が拡大する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス17と強含み横ばいの推移が見込まれ、運賃水準の上昇圧力は依然として強いものの、やや一服感がみられる。

特別積合せトラック運賃の実績と見通し

業種	2015年4月～6月実績					2015年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	73	27	72	1	26	72	28	71	1	27
	繊維・衣服	27	11	89	0	11	27	19	81	0	19
	木材・家具	26	8	92	0	8	26	8	92	0	8
	パルプ・紙	29	28	69	3	25	29	28	69	3	25
	化学・プラスチック	104	32	68	0	32	102	30	68	2	28
	窯業・土石	29	17	83	0	17	28	21	72	7	14
	鉄鋼・非鉄	65	15	83	2	13	65	15	83	2	13
	金属製品	35	11	89	0	11	34	6	94	0	6
	一般機械	64	8	89	3	5	64	11	86	3	8
	電気機械	96	9	91	0	9	96	13	86	1	12
	輸送用機械	72	13	82	5	8	72	17	78	5	12
	精密機械	17	12	76	12	0	17	12	76	12	0
	その他	38	18	79	3	15	37	16	81	3	13
計	675	17	81	2	15	669	18	79	3	15	
卸売業	生産財	36	25	75	0	25	36	25	72	3	22
	消費財	35	26	74	0	26	35	23	77	0	23
	計	71	25	75	0	25	71	24	75	1	23
合計	746	18	80	2	16	740	19	79	2	17	

(3) 鉄道コンテナ運賃

■ 4～6 月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、化学・プラスチック、その他の製造業など 10 業種がプラス、木材・家具および一般機械がゼロ水準で、金属製品、輸送用機械、精密機械の 3 業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス 5 で、前期(1～3 月)実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 7～9 月の『運賃動向指数』見通しでは、食料品・飲料および消費財卸においてプラス幅が縮小する一方、一般機械および輸送用機械がプラスに浮上する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス 5 と横ばいの動きが見込まれ、運賃水準の上昇圧力には変化がないとみられる。

鉄道コンテナ運賃の実績と見通し

業 種	2015年4月～6月実績					2015年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食料品・飲料	50	8	90	2	6	50	8	88	4	4
	繊維・衣服	9	11	89	0	11	9	22	78	0	22
	木材・家具	21	0	100	0	0	21	0	100	0	0
	パルプ・紙	36	6	94	0	6	36	6	94	0	6
	化学・プラスチック	85	12	88	0	12	84	12	88	0	12
	窯業・土石	14	7	93	0	7	14	7	93	0	7
	鉄鋼・非鉄	39	10	87	3	7	39	10	87	3	7
	金属製品	18	0	94	6	△ 6	18	0	94	6	△ 6
	一般機械	35	0	100	0	0	35	3	97	0	3
	電気機械	40	8	90	2	6	40	8	90	2	6
	輸送用機械	38	3	92	5	△ 2	38	3	95	2	1
	精密機械	13	0	85	15	△ 15	13	0	85	15	△ 15
	その他	24	12	88	0	12	23	13	87	0	13
計	422	7	91	2	5	420	7	91	2	5	
卸 売 業	生産財	13	8	92	0	8	12	8	92	0	8
	消費財	17	12	88	0	12	17	6	94	0	6
	計	30	10	90	0	10	29	7	93	0	7
合計	452	7	91	2	5	449	7	91	2	5	

(4) 内航コンテナ運賃

■ 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、窯業・土石、生産財卸など8業種がプラス、繊維・衣服など5業種がゼロ水準で、電気機械および精密機械がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス2で、前期（1～3月）実績からは4ポイント低下した。

■ 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、消費材卸がゼロ水準まで下降する一方、木材・家具および鉄鋼・非鉄がプラスに浮上し、電気機械もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス3と強含み横ばいの動きが見込まれ、運賃水準の上昇圧力はわずかながら強まるとみられる。

内航コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2015年4月～6月実績					2015年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	29	10	83	7	3	29	10	87	3	7
	繊維・衣服	7	0	100	0	0	7	0	100	0	0
	木材・家具	13	8	84	8	0	13	8	92	0	8
	パルプ・紙	26	15	73	12	3	26	15	73	12	3
	化学・プラスチック	52	8	88	4	4	51	8	86	6	2
	窯業・土石	7	14	86	0	14	7	14	86	0	14
	鉄鋼・非鉄	26	4	92	4	0	26	4	96	0	4
	金属製品	13	0	100	0	0	13	0	100	0	0
	一般機械	30	3	97	0	3	30	3	97	0	3
	電気機械	39	0	97	3	△3	38	3	94	3	0
	輸送用機械	32	3	94	3	0	32	3	94	3	0
	精密機械	11	0	82	18	△18	11	0	82	18	△18
	その他	20	10	90	0	10	20	10	90	0	10
計	305	6	90	4	2	303	6	90	4	2	
卸売業	生産財	7	14	86	0	14	7	14	86	0	14
	消費財	12	8	92	0	8	12	0	100	0	0
	計	19	11	89	0	11	19	5	95	0	5
合計	324	6	90	4	2	322	6	91	3	3	

(5) 国内航空運賃

■ 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、パルプ・紙、消費財卸など8業種がプラス、繊維・衣服など5業種がゼロ水準で、金属製品および精密機械がマイナスを示した。業種全体の『運賃動向指数』はプラス3で、前期（1～3月）実績からは2ポイント低下した。

■ 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、消費財卸のプラス幅が縮小する一方、その他の製造業がプラスに浮上し、電気機械および生産財卸のプラス幅が拡大する以外に動きはみられない。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス4と強含み横ばいの推移が見込まれ、運賃水準の上昇圧力はわずかながら強まるとみられる。

国内航空運賃の実績と見通し

業 種	2015年4月～6月実績					2015年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食料品・飲料	24	13	79	8	5	24	13	79	8	5	
繊維・衣服	9	0	100	0	0	9	0	100	0	0	
木材・家具	11	0	100	0	0	11	0	100	0	0	
パルプ・紙	8	12	88	0	12	8	12	88	0	12	
化学・プラスチック	38	11	89	0	11	38	11	89	0	11	
窯業・土石	9	0	100	0	0	9	0	100	0	0	
鉄鋼・非鉄	24	4	96	0	4	24	4	96	0	4	
金属製品	16	0	94	6	△6	16	0	94	6	△6	
一般機械	44	7	93	0	7	44	7	93	0	7	
電気機械	62	2	98	0	2	62	5	95	0	5	
輸送用機械	33	3	94	3	0	33	3	94	3	0	
精密機械	18	0	89	11	△11	18	0	89	11	△11	
その他	20	0	100	0	0	20	5	95	0	5	
計	316	4	94	2	2	316	5	93	2	3	
卸売業	生産財	12	8	92	0	8	12	17	83	0	17
	消費財	16	12	88	0	12	16	6	94	0	6
	計	28	11	89	0	11	28	11	89	0	11
合計	344	5	93	2	3	344	6	92	2	4	

(6) 営業倉庫保管料金

- 4～6 月実績（見込み）の『料金動向指数』は、輸送用機械が唯一マイナスを示し、木材・家具および精密機械がゼロ水準で、残り 12 業種がプラスとなった。業種全体の『料金動向指数』はプラス 6 で、前期（1～3 月）実績からは 2 ポイント低下した。
- 7～9 月の『料金動向指数』見通しでは、輸送用機械がゼロ水準まで戻すなど、8 業種において上昇の動きがみられる。業種全体の『料金動向指数』はプラス 8 と 2 ポイントの上昇が見込まれ、料金水準の上昇圧力は強まるとみられる。

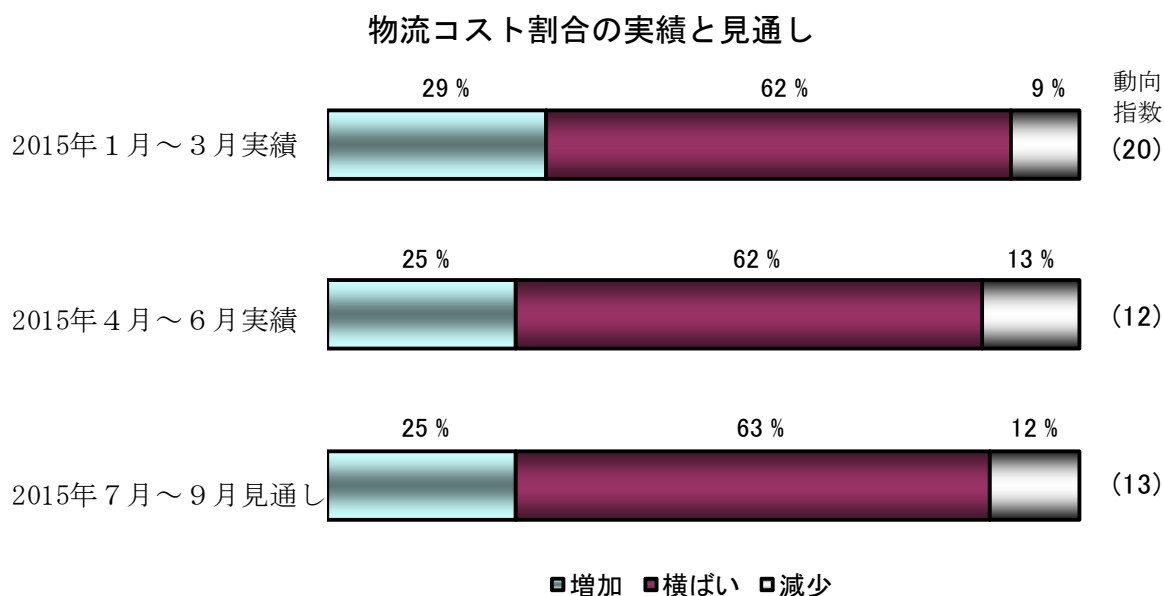
営業倉庫保管料金の実績と見通し

業 種	2015年4月～6月実績					2015年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	68	19	81	0	19	68	18	82	0	18
	織 維 ・ 衣 服	15	7	93	0	7	15	13	87	0	13
	木 材 ・ 家 具	25	0	100	0	0	24	0	100	0	0
	パ ル プ ・ 紙	36	14	83	3	11	36	17	81	2	15
	化学・プラスチック	91	8	89	3	5	91	8	90	2	6
	窯 業 ・ 土 石	18	6	94	0	6	18	11	89	0	11
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	57	5	95	0	5	57	5	95	0	5
	金 属 製 品	23	4	96	0	4	23	9	87	4	5
	一 般 機 械	59	10	90	0	10	59	8	89	3	5
	電 気 機 械	72	1	99	0	1	72	8	88	4	4
	輸 送 用 機 械	63	5	89	6	△ 1	63	6	88	6	0
	精 密 機 械	12	8	84	8	0	12	8	84	8	0
	そ の 他	37	5	95	0	5	37	8	92	0	8
計	576	8	91	1	7	575	9	89	2	7	
卸 売 業	生 産 財	32	9	91	0	9	32	9	88	3	6
	消 費 財	32	19	78	3	16	32	16	81	3	13
	計	64	14	84	2	12	64	13	84	3	10
合 計	640	8	90	2	6	639	10	88	2	8	

－ 7. 物流コスト割合の動向－

■ 売上高に対する物流コスト割合の動向について、4～6月実績（見込み）の『動向指数』は、鉄鋼・非鉄が唯一マイナスとなり、金属製品がゼロ水準にとどまる以外は、残り13業種がプラスとなった。業種全体の『動向指数』はプラス12で、前期（1～3月）実績からは8ポイント低下した。

■ 7～9月の『動向指数』見通しでは、輸送用機械がマイナスに沈む一方、鉄鋼・非鉄がプラスに浮上するなど9業種において上昇の動きがみられる。この結果、業種全体の『動向指数』はプラス13と強含み横ばいの推移が見込まれ、物流コスト割合の上昇圧力は依然として強いものの、やや一服感がみられる。



物流コスト割合の実績と見通し

業 種		2015年4月～6月実績				2015年7月～9月見通し					
		回答社数	構成比(%)			動 向 指 数	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数
			上昇	不変	下降			上昇	不変	下降	
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	102	33	57	10	23	103	36	55	9	27
	繊 維 ・ 衣 服	39	28	72	0	28	39	21	72	7	14
	木 材 ・ 家 具	44	25	59	16	9	44	32	59	9	23
	パ ル プ ・ 紙	48	48	40	12	36	48	40	46	14	26
	化学・プラスチック	115	30	59	11	19	115	30	61	9	21
	窯 業 ・ 土 石	39	26	56	18	8	39	21	64	15	6
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	103	15	68	17	△ 2	103	16	70	14	2
	金 属 製 品	52	13	74	13	0	52	15	70	15	0
	一 般 機 械	87	21	70	9	12	87	22	72	6	16
	電 気 機 械	129	20	64	16	4	127	21	63	16	5
	輸 送 用 機 械	93	22	58	20	2	92	20	58	22	△ 2
	精 密 機 械	25	24	68	8	16	25	32	60	8	24
	そ の 他	54	22	67	11	11	54	24	65	11	13
計	930	25	62	13	12	928	25	63	12	13	
卸 売 業	生 産 財	49	33	59	8	25	49	29	61	10	19
	消 費 財	50	30	62	8	22	50	34	60	6	28
	計	99	31	61	8	23	99	31	61	8	23
合 計	1,029	25	62	13	12	1,027	25	63	12	13	